

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	林業技術センター(研修寮、森の科学館、体験の森、森林植物園、親水広場のみ)
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	環境森林部 森林経営課

1 施設利用状況

指標	R3	R2	R1	増減理由等
森の科学館入場者(単位:人)	2,202	2,072	7,009	・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、施設の臨時閉館、主催研修の中止や定員を制限した開催のほか、自主研修の受入れ自粛等を行ったため、昨年度より利用者が増加したものの、コロナ禍前に比べ利用者の減少が続いている。
主催研修参加者(単位:人)	697	366	2,155	
自主研修受入人数(単位:人)	860	768	2,052	
研修寮利用者(単位:人)	315	278	774	

コメント 新型コロナウイルス感染症の影響は今後も継続することが考えられることから、感染対策を十分に行った上で、施設利用者を受け入れる必要がある。

H28年10月に実施した「森とのふれあい祭り」が前年度から約200名の減少となったが、教室に参加しない人を含めると全体の来場者数は変わらないと思われる。自主研修利用者は増加したため、引き続きPR活動を継続していく必要がある。

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R3	R2	R1	支出	R3	R2	R1
指定管理料	30,400	26,787	26,787	人件費	22,853	21,828	20,407
利用料金収入	318	297	667	報償費	129	118	271
食事代収入	1,575	1,430	1,863	旅費	112	133	170
研修材料代収入	496	486	961	需用費	3,039	2,946	4,680
クリーニング代収入	38	33	101	役員費	679	611	801
雑収入等	139	3	107	原材料費・その他	3,374	2,553	3,803
				租税公課費	2,356	2,084	1,940
				県への利用料金納付額	0	0	0
合計(①)	32,966	29,036	30,486	合計(②)	32,542	30,273	32,072
収支差額(①-②)	424	-1,237	-1,586				

コメント 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設利用者の大幅な増加は見込めないことから、今後も業務内容の効率化による経費削減を進めていく必要がある。

3 管理運営状況

※下線部分は、令和2年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(随時)、特別清掃(年1回ワックス)
	保守・点検	遊歩道の点検(月1回)、施設内巡回(月1回以上)
	警備	研修寮使用時夜間巡回(日3回)
	修繕	各種用具の保守・整備(常時)
	備品等管理	備品点検(年1回)
	安全対策	安全・危険管理マニュアル整備、施設内安全点検(月1回)、消防訓練(年1回)、救急救命講習会
	その他	芝刈下刈・除草・剪定・薬剤防除・施肥実施、毎月1回朝会実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	職員接遇研修(年1回)、アンケート調査の実施(主催研修)
	イベント等ソフト面充実	年間行事案内(教育施設等各団体への働きかけ)、出前研修による施設活動のPR、HP・マスコミを利用した情報発信
	施設設備等ハード面充実	施設にちなんだクイズ等の設置、樹木名の立て札補修、遊歩道木階段の補修、身障者用トイレの補修
	その他	地域経済配慮(地元雇用、職員・作業員等臨時職員 計8名)
管理運営体制	業務に関する職員研修の実施	
コメント	施設管理等適正に実施されている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	主催研修参加者へのアンケート等
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
スタッフ対応、イベント内容等について評価が高い。	

5 総合評価

評価コメント	研修での丁寧な説明等を心がけるなど、利用者へのサービス向上に努めており、施設利用者へのアンケート調査結果を見ても、利用者の満足度は高いことから、施設管理運営については適正に実施されている。今後とも多くの県民に利用され、喜んでもらえるような施設管理運営が期待される。
今後の課題と対応	平成27年度より県への利用料納付実績がないため、研修寮の稼働日数をあげるため一層のPRを行い、利用者数の増加を図る必要がある。